

2014年6月3日

当社事業所において早期交通開放型コンクリート舗装を施工

住友大阪セメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：関根福一）は、4月16日セメント・コンクリート研究所（大阪市大正区）、5月29日岐阜工場（岐阜県本巣市）において、一般社団法人セメント協会等との共催で、早期交通開放型コンクリート舗装『1DAY PAVE』（※）公開施工見学会を実施いたしました。

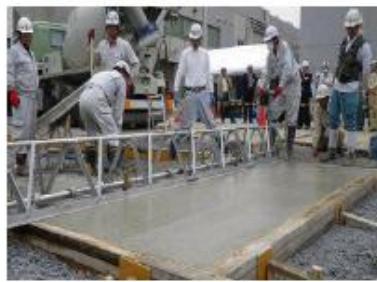
『1DAY PAVE』は、コンクリート舗装の欠点とされる養生期間を短縮し、早期交通開放が求められる道路補修工事などでの適用が期待される技術です。

見学会では、行政関係者、建設会社、生コンクリート製造会社などより、多くの方々のご参加を頂きました。これからも、コンクリート舗装の普及拡大に向け、研究開発に注力するとともに、そのメリットを広くPRしてまいります。

□4月16日 セメント・コンクリート研究所



アジテータ車からのコンクリート荷降ろし
打設量は7.2㎡



簡易フィニッシャーによる敷き均し



施工1日後の状況
24時間で目標を上回る強度(4.84N/mm²)を確認

□5月29日 岐阜工場



アジテータ車よりホッパー(5002)への
荷降ろし



ホッパーからの打設



敷き均し

※早期交通開放型コンクリート舗装『1DAY PAVE』とは？

1. コンクリート舗装を取り巻く現状

現在、国内の道路は、交通開放の早さや、初期施工コストの優位性などから、大半がアスファルト舗装となっており、コンクリート舗装はわずかに6%程度しかありません。

しかし、近年では、耐久性が極めて高く、維持管理の合理化が図れ、長期的な供用が可能な点、その明色性からヒートアイランドの抑制に繋がるという点、また、自動車走行性能の改善による燃費向上など、コンクリート舗装の優位性が明らかとなってきました。

一昨年度から国土交通省が適材適所にコンクリート舗装を活用する方針を打ち出すなど、注目が高まっています。

参考 URL：セメント協会ホームページより

『なぜコンクリート舗装を活用しないのですか？』

<http://www.jcassoc.or.jp/cement/1jpn/jk.html>

2. 『1DAY PAVE』の開発と普及促進

一方で、コンクリート舗装は、施工後、交通開放までに数日間を要するという課題がありました。新設道路のように、施工後一定の養生期間が確保できる舗装工事には充分対応できますが、供用中道路の補修工事など、早急な交通開放が求められる工事には、対応が困難となっております。

この解決策として、一般社団法人セメント協会では、施工後1日以内で交通開放を可能とする『1DAY PAVE』を開発しました。

『1DAY PAVE』は、施工翌日の交通開放を実現するだけでなく、汎用的な材料で製造出来るため、全国どの生コンクリート工場からも出荷ができ、しかも特殊な施工機械も必要としないことから、今後の普及が大いに期待されます。

当社では、3年以上前からその試験施工に取り組んでおり、実績を重ねてまいりました。今後も順次、当社関連施設等での施工見学会を開催する予定で、さまざまな条件下でのデータを蓄積することで、その普及促進に努めてまいります。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

総務部 IR 広報グループ TEL03-5211-4505 FAX03-3221-4652